

三戸

地域で活躍する人たちが招いた「仕事と生き方を語るワールドカフェ」が22日、三戸町の三戸高校(直町年行校長)で開かれた。町

内外のさまざまな職業のゲスト4人が自身の歩みや仕事のやりがいなどを語り、生徒たちは多様な職業観に触れ、将来の進路や働き方について考えを深めた。(藤田幸雄)



多様な職業観 将来の参考に

生徒たちに美容に関する仕事のやりがいなどについて語る神田さん

三戸高で「ワールドカフェ」

同校の総合的な探究の時間「三戸みらいキャンパス」の一環で、同校駐在の美容師・神田紅美子さんは、東京で約20年勤務する美容師として、自身の経験を通じて美容分野で独立し、「若い世代に行動し、多くの人に会うことが大切」と語り、生徒たちは「自分の関心を追求し、将来を模索しながら、現在の仕事を」と語り、現在の仕事を



アメリカン雑貨販売店を営む野さん家の話を聞く生徒たち

終了後、坂本賢明さん(1年)は「たまにまたな人の選択がある」と知り、将来を模索する視野が広がった。佐藤悠文さん(同)は「ネットでは得られない深い話を直接聞けて刺激になった」とそれぞれ感想を語った。

また、宮城県丸森町で活躍した西野瑞穂さんは、地域おこし協力隊を経て「好きなことを活かせる力」を仕事にしてきた経験を紹介。「誰かの役に立ちたいという思いが、仕事の形になった」と語り、趣味や得意分野が働き方につながる可能性を伝えた。

町内でアメリカン雑貨販売店を営む野さんは、車好きを軸にした交流イベントの取り組みを紹介。「同じ趣味が人をつなぎ、地域を動かす力になる」と語り、生徒に挑戦する大切さを呼びかけた。